

# ミラクルスターのつくりかた

Type-A, Meister's Ver.

# 1. 大前提として

大前提として

若くて、アプローチするよりされることの方が多く何もしなくても男性が集まるだけではなく、**生き方が同性にも共感を呼び特に憧れの対象となっている女性であること**

が必要です。現時点でそうではない人は、この先の話は直接的には関係のない話になります。これから努力してそうなったとしても、やはり直接的には関係のない話になります。

似て非なるものは「同性に共感を呼び憧れの対象となっている女性ではあるものの、男性に飢えていた空白期間があり、現実に存在していない男性を追いかけている」というパターンです。この場合も直接的には関係のない話になります。

## 2. あなたがついていく相手一人を決める

一人目から十人目まで十人のパートナーが揃っている男性の中から、

あなたがついていく相手一人を決めます。



写真はイメージです

### 十人のうち七人目のパートナーがあなたの未来です

あなたがついていく相手一人の十人のパートナーのうち七人目のパートナーにあなたの未来が投影できることが必要です。七人目のパートナーが誰であるか公表している人としていない人がいると思います。七人目のパートナーは十人のパートナーの中で要となる人物であるはずで、あなたがついていく相手一人の普段の行動、言動、何を狙っているかについてよく観察し、その内容に最もよく当てはまる人間が七人目のパートナーである可能性が高いと言えます。

### 3. 足場の役割を引き受けてくれる女性六人をつくる

足場の役割を引き受けてくれる女性六人をつくります。

足場の役割を引き受けてくれる女性六人には Type-A, Mild Ver. を勧めるのが王道ですが、別の選択肢がある人もいます。

それでお金をもらうことができるだけの価値を持っている(プロフェッショナルである)人は、自分と同じことをそれぞれの時空間のなかで行うように導いてあげるとよいでしょう。

## 4. 七人目のパートナーを選ぶ

あなたにとっての七人目のパートナーとは、  
あなたがついていくと決めた相手の七人目のパートナー  
のことです。

# 5. 十人目までのパートナーを選ぶ

あなたにとっての八人目のパートナーは、

七人目のパートナーとの協業によって広がる部分の市場を開拓する人です。(七人目のパートナーが元々持っていた以外の市場)



写真はイメージです

九人目・十人目のパートナーを選ぶ場合は、七人目・八人目・九人目・十人目のパートナーのそれぞれの活動地域が重ならないように(選ぶ時点からあらかじめ状況を見通して)選びます。